



那覇市立教育研究所

# 研究所だより



那覇市金城 3-5-3

Tel 917-3441 Fax 857-8681

naha-c@naha-c.nahaken-okn.ed.jp

所長 田中 浩三

## 教育研究員研修「第一〇〇期」を迎えて

所長 田中 浩三



本年度も前期教育研究員四名が、各自のテーマのもと六ヶ月間の研修を積み重ね今月をもって修了する。今回は研究員研修がスタートして以来「第一〇〇期」という記念すべき節目を迎えている。これまで七十一名の研究員が研究所を巣立っているが、本年度研究員と同様、研究が思うように進まず、悩み・苦しみ試行錯誤したり、指導主事等周りに助言を求めたり、多くの図書から学んだりして研究が修了したのだらうと想う。そこで、このような節目にこれまでの本研修の概要を振り返りつつ、その変遷を紹介してみたい。

当研究所は今年度創立五三年目であるが、研究員制度がスタートしたのは、創立三年目の昭和三十九年度後期からである。当初は前期（五～七月）、後期（十～十二月）の三ヶ月間を計六名により研修が行われており、この制度は昭和四十六年の復帰前まで継続された。復帰時も機構改革等大きな変革の中で、研究員研修は継続して実施されたことが記されている。

昭和四十九年度より前期（四月～七月）、後期（九月～十二月）と学期に合わせた研修期間を設定し、研究員も計十名と増員して研修が実施されている。

昭和五十五年度からは前期・後期合わせて研究員を二十名と大幅に増やし、さらに、四月～三月の一カ年長期研修を幼小中各一名ずつ採用し、新たな研修制度のもとスタートさせている。この一カ年研修は昭和六三年度まで続いている。

「平成」となってから、研究員研修は益々充実が図られ、平成四年度には研究員が、幼（四名）小（十九名）中（七名）の年間三十名という最多記録となっている。平成五年度以降は徐々に研究員数も減少している（平成十年度は十七名、平成十五年度は十三名）。また、平成七年度からは研修期間が前・後期各六ヶ月となり現在に至っている。現在の研究員八名となつて実施されたのは平成二一年度からである。

このような研究員研修は、制度化されて五十年を経過しているが、その間、組織や場所等の変遷は何度かあったものの「前・後期」の二期制は変わることなく着実に実施され、今回丁度一〇〇期を迎えている。

「第一〇〇期」に当たり、これまで研究員研修に関わって頂いた歴代所長（二名）はじめ、多くの指導主事（五六名）や関係者の皆様のご尽力に心から感謝と敬意を表したい。

## お知らせ 第100期 教育研究員 成果報告会・修了式



那覇市立教育研究所では、1964年（昭和39年）から研究員制度が始まりました。今回、記念すべき第100期の成果報告会及び修了式が行われます。教育研究所の歴代所長・指導主事の皆様をはじめ、たくさんの先生方のご参加をお待ちしております。

日時：平成25年 9月30日（月） 14:00～15:45（成果報告会）  
16:00～16:45（修了式）  
場所：自治会館 2階研修室  
＊駐車場はございませんので公共機関をご利用下さい。



## 平成25年度 「夏期授業実践講座」

●今年度も研究所主催の夏期講座が実施されました。「授業実践講座」（全7講座）に 320名の参加がありました。次年度もぜひご参加ください。ありがとうございました。



7/29（月）  
講座名：「国語科授業実践講座（小学校）」  
～言語活動を取り入れた授業の工夫～  
講師：徳門敦子（那覇市教育委員会学校教育課指導主事）



①単元を貫く言語活動を意識した指導案を作ること、自分で書いてみて評価規準を決める点など、とても参考になりました。  
②学習計画と評価規準を立てていくのはやはり難しかったです。でも、付けさせたい力を明確にし、言語活動を決定することの重要性について学ぶことができました。

8/9（金）

講座名：「ダンス指導実践講座」  
～授業におけるダンス指導の基礎と活用～  
講師：森島美奈子（M's・un・Studio 代表）



③ダンスの方法だけでなく、楽しむコツやテンポのよさ、方法を教えた後でのグループ発表など、授業で取り入れられることがたくさんあったと思います。  
④分かりやすく楽しく教えていただきよい経験となりました。ヒップホップなどは授業で行えるような、段階を踏んだ内容もあるとよかったです。

8 / 6 (火)

講座名：「国語科授業実践講座（中学校）」

～単元を貫く言語活動を取り入れた授業づくり～

講師：上江洲朝男（那覇市立教育研究所指導主事）



8 / 12 (月)

講座名：「読み聞かせ講座」

～プロに学ぶ、豊かな表現～

講師：佐渡山美智子（フリーランスネットワーク主宰）



☑単元構想表というものが新しいやり方でとてもよかった。これだと単元を貫く指導（全体構成とその一部）ができる。

細かい授業アイデアをたくさん教えてくださってうれしかった。いつも明日から使えるひと工夫が必ず収穫できるのでありがたい。

☑読み聞かせで「ページをめくるタイミングは子どもたちが持っている」ということにハッとさせられました。ページをめくる前には子どもたちの顔、様子をしっかりと見たと思いました。

☑発声練習を早速授業で使ってみたいと思った。

7 / 29 (月)

講座名：「算数科・数学科授業実践講座」

～思考力・判断力・表現力等をはぐくむ授業づくり～

講師：奥間千賀子（那覇市立教育研究所指導主事）

実践発表：大城香織（那覇市立真地小学校教諭）

仲宗根歩（浦添市立仲西中学校教諭）



☑子どもが授業で思考する場面を多く持つためには、教師の発問がとても大切だと思った。その大事な発問を落とさないためにも、この授業の目標は何か、この1時間で絶対に押さえないといけないことは何かを教師が明確に持っているといけないと思った。

☑小学校・中学校の事例発表を聞き、問題提示の工夫によっても児童の思考を活発にすることを学んだ。

8 / 12 (月)

講座名：「理科授業実践講座」

～言語活動を取り入れた理科の授業の工夫～

講師：玉村かおり（那覇市立教育研究所指導主事）

～「宇宙教材」を活用した授業づくり～

講師：遠藤純夫（神奈川県 JAXA 宇宙教育センターアドバイザー）

☑個人ではあまり聞くことのできない JAXA の講師のお話が聞けて良かった。実習等もお願いしたい。

☑言語活動を意識した授業の取り組み方、授業導入に活用できる教材など直ぐに取り組める内容が多くとても良かった。

☑言語活動の指導のイメージができました。授業メモの例もあり、今後に生かしていきたいと思います。



8 / 6 (火)

講座名：「道徳授業実践講座」

～道徳教育の在り方をふまえた道徳の授業づくり～

講師：横山利弘（日本道徳教育学会名誉会長）

実践発表：比嘉君代（那覇市立城東小学校教諭）

松茂良尚哉（久米島町立久米島西中学校教諭）



☑「この子、どう思ってるんやろ？」と心の方へ視線を向けた授業をすることが道徳教育という言葉がすごく印象的でした。

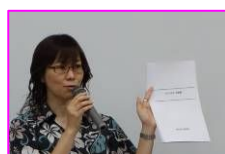
いつも中心発問をうまく立てられずに困っていたのですが、「before-after」のパターンを使って今後やってみたいと思いました。

☑小学校・中学校の実践の紹介があり、このようなよい話があったのかと知らなかった自分にショックと、これから情報収集するぞと気が出ました。

## 平成25年度「コンピュータ実践講座」

講師：上地弘美（株）興洋電子

今年度も5回にわたり「コンピュータ実践講座」が開催され、113名の先生方の参加がありました。



☑とてもわかりやすく、ていねいな説明だったので初心者の私でもわかりました。ありがとうございました。

☑実践で役に立つPC講座（エクセルの応用など）をどんどんやってほしい。